

# SANGATIMES



# 打破

リーグ前半戦、11戦無敗が続くも、連勝はゼロだった京都サンガF.C。.

2017シーズン開幕時に掲げた「常勝」と「上昇」に辿り着くには、現実を受け止めながら一歩一歩前進していかなければならない。

闘争心を研ぎ澄ませろ。自分自身に打ち勝て。

J1昇格の道は必ずその先に開けてくるはずだ。



ボランチ  
です  
が  
な  
に  
か

5 MF 吉野 恭平



Kyohei Yoshino

サンガに加入後、本職のセンターバックではなくボランチとして存在感を増し続ける吉野恭平が、ここに至るまでの葛藤と未来への展望を語る。

「このままでは人生が終わってしまう」  
そんな危機感を感じてサンガに来た

サッカーをやる限りは日本代表を目指したい。そんな思いでサッカーに取り組んでいます。実際、U-16から代表のメンバーに選ばれることが続いていたので、そのままオリンピック代表、そしてA代表に入るイメージを持ち続けていました。東京ヴェルディユースからトップチームに昇格し、1年半をJ2でプレーした後、J1のサンフレッチェ広島に所属していましたが、なかなか試合に出場することができず、ずっともがいていました。代表の方も、念願のオリンピック・リオデジャネイロ大会のメンバーに入ることもできませんでした。

そして去年の夏、サンガから声をかけてもらったのですが、決して「J2なら試合に出られるだろう」というような楽観的な気持ちではなかったですね。「J2でも試合に出られなければ、さらに下のカテゴリーに行くことになるんだろうな」とか「このままじゃ一生上のカテゴリーでプレーできなくなってしまう」という強い危機感しかありませんでした。サンガには「人生を懸けて来た」と断言できます。

そして下のカテゴリーだからといって、何から今までレベルが低いわけではありません。コンパクトな布陣をキープしながら戦うチームが多く、選手が密集している分、プレースピードはJ2の方が早いと感じこともあります。それはすでにヴェルディ時代に経験済みだったのですぐに感覚を取り戻すことができました。

迷いなく自分の良さを出そうと思った時からボランチの感覚がつかめるようになった

広島ではずっとセンターバックをやってきたので、サンガでも当然センターバックとしてプレーするものだと思っていました。でも、合流直後、当時の石丸清隆監督から「あれ?ボランチじゃなかったの?」みたいなことを言われて(苦笑)。正直、最初の方は「ずっとやってきたセンターバックとしてプレーした方がいいんじゃないのかな?」と思いながらプレーしていました。それが迷いとして出てしまったのか、サンガでの最初の5試合ぐらいは「どうしたらいいんだ?」、「このままだったらマジでヤバイな」というほどうまくいきませんでした。周りに合わせながらやっているつもりが、いつしか控えめなプレーにつながってしまい、チーム全体が後ろに重心がかかるような状態になりました。

「こんなんじゃ人生このままで終わってしまう」と、危機感がピークに達したある日、「どうせダメになってしまふんだったら、自分の良さを最大限に出しきってからだ」という気持ちに突然切り替わったんです。ボランチとしての感覚をつかむことができるようになったのは、そこからですね。前にボーグルを出せるようになりましたし、いいタイミングで前にも出て行けるようになりました。

相手にガツガツ行くプレースタイルだと思われていますが、実は強がっているからなのかもしれません。ピッチで弱みを見せる選手がいれば、僕ならそこにつけ込もうと思いますから。

2トップに当てるところから始まる戦術が  
サンガの成長のきっかけとなった

今シーズン、布部陽功監督から「期待しているから」と副キャプテンに指名されましたが、まさか自分がそんな立場になるとは思っていませんでした。人からは「ユースの時にキャプテンをやってたでしょ?」と言われますけど、あれはむしろ自分がキャプテン向きじゃないから、自律のためにやったこと。でも、今回は自分に対して期待してくれている監督のためにも自分にできることを精一杯やりたいです。僕は言動で人を引っ張っていくタイプじゃないですし、副キャプテンになったからといって今までできなかつたことが突然できるようになるわけでもありません。だったら「ピッチで100%を出し続けよう」と、指名された時、すぐに思いました。



そしてポジションもミッドフィルダー登録となりました。開幕後にトーアさん(田中マルクス闘莉王)が怪我をしていました時は練習でセンターバックに入ったこともありますし、何かハブニングがあればいつでも対応できるように準備はしていますが、ボランチが今の自分のポジションです。

シーズン序盤はチームとしてなかなか結果を出せなかつたのですが、自分自身のパフォーマンスもどうしようもないほど良くなかったですね。でも、流れも悪く、結果も出ないながらも「チームとして必ず良くなるから、このまま耐えて続けていこう」と信じてきました。それは僕だけじゃなく、チーム全員がそう思ってきたことが団結となり、4月から負けなしが続いた要因だと思います。

その中でも転機となったのが、やはり第8節・愛媛FC戦ですね。3-4-3から4-4-2にシステムを変更しましたが、選手の並びが変わったことはそんなに大きな変化ではありませんでした。それよりも、「まず前線のトゥーさんとケヴィン(ケヴィン・オリス)に当てて、シンプルに攻撃しよう」という意識がチーム内で目覚めたことが大きかった。ターゲットができることで、そこからどうしようということになり、チームが目に見えて成熟していくようになりました。

今ではトゥーさんとケヴィンに当てたボールがどこに落ちるかみんなわかるようになってきたので、セカンドボールはほとんど自分たちのものにできるようになりました。さらには2トップを警戒して相手がズルズルと下がっていけば、ボールを回しながら攻撃を組み立てやすくなります。今ではどんな対戦相手も、サンガの2トップは嫌がるはず。型破りな攻撃に見えるかもしれません、それを強みとして最大限に活かしていけばいいと思います。

納得できるパフォーマンスを見せた古巣対決  
これをベースに積み上げをはかっていきたい

2トップに当てる戦術が機能し始めるにしたがって、僕自身もイメージどおりのプレーができるようになってきました。どうしてもトゥーさんとケヴィンにマークが集中する分、僕に対するプレッシャーがゆるくなり、プレーがしやすい。さらに僕が前に飛び出すシーンも増えてきました。あれだけしっかりキープしてくれたら、ボランチとしても前に行きやすいですね。そんな中、自分のプレーに満足できたのが、第15節の東京ヴェルディ戦でした。古巣相手の試合だったので、特別な思いでの試合に臨みました。もちろん「絶対に負けたくない」という気持ちで。試合ではユース時代に一緒にプレーした選手もいっぱいいて、安在和樹なんかとマッチアップしてやっぱり駆け引きうまいなど改めて感じました。安在だけ

でなく、他の選手もこっちが嫌がることを仕掛けてくるので、  
ヴェルディユース時代に普及育成アドバイザーだった都並敏  
史さんに指導していただいたことを思い出し、初心に帰るこ  
とができる一戦でした。そんな試合でセカンドボールもこと  
ごとく拾えて、数多く攻撃にも絡むことができた上、逆転勝  
ちができ、自分にとっても、チームにとっても大きな一勝だっ  
たと思います。ヴェルディ戦でできたプレーをベースとして、  
これからも継続、発展させていきたいですね。

今年、サンガをJ1に上げることが  
代表という目標へ近づく道筋だと思う

これから気温がどんどん上がり、特に蒸し暑い京都でのホームゲームは厳しい消耗戦になると思います。そんな中、体力を無駄に消耗させない戦い方も工夫しなければいけません。なんでもかんでもロングボールを蹴って前線に当てるのではなく、うまくボールを持つ時間もつくるメリハリのあるサッカーで戦うことも必要です。サンガには経験豊富な選手が多いので、他のチームよりその辺がちゃんとわかっている分、有利ですよね。

それとともに若い世代の選手も、もっと成長しなければなりません。特にサンガ U-18 から今年トップ昇格した島村拓弥や麻田将吾にも、もっと遠慮なく何事にも取り組んでほしいです。麻田はリーグ戦でデビューしたり、U-19 にも選ばれたりしていますし、島村にてもあんないいドリブルを持っている選手は J2 にはいません。「もっとグイグイ行けよ」と言ってるんですけどね。先日もショウゴくん(下島翔吾)とごはんに行ったんですけど、それを知っても「連れて行ってくださいよ」と言わない。そういう遠慮がちなところがピッチ



にも出ているのかもしれませんね。ただ、僕個人も自分のことで精一杯なんですが…。果てしなく遠い道のりかもしれませんが、やっぱり代表入りを目指し続けたい。しかし、このままJ2にいたらまず代表に呼んでもらえない。やはりビッグクラブのスタメンにならないと。そのためにもサンガのJ1昇格に貢献し、サンガがビッグクラブへと成長する第一歩としなければ何も始まりません。最近、負けない試合が増えてきた一方で、勝ちきれない試合がまだまだ多いのも事実。リーグ前半戦は上位との勝点差が非常に少ない大混戦状態となっているので、勝ちきれる試合を増やせばサンガが今シーズンにJ1昇格できるチャンスは間違いなく大きくなるはずです。ここからファン、サポーターの皆さんとチームが団結すれば、必ずいい流れをキープできると思いますので、一緒に頑張っていきましょう。また、僕の熱いプレーだけでなく、時々ピッチで見せるクールな一面も見ていただけたらうれしいです。これからも応援よろしくお願いします。

取材日:6月9日



5 MF  
吉野 恒平

1994年11月8日生まれ。宮城県出身。  
2013年、東京ヴェルディユースからトップチームに昇格。1シーズン半に渡ってプレーした後、サンフレッチェ広島を経て、2016年夏、期限付き移籍でサンガに加入。もともとはセンターバックを主戦場としていたが、サンガでは対人の強さと足元の確かな技術が評価され、ボランチとしてプレーしている。サンガへの期限付き移籍期間を延長した今シーズンは副キャプテンも務め、攻守をつかさどる中盤の核として活躍中。西京極で行われた第18節・F・C町田ゼルビア戦では、サンガ初得点をマークした。

**7月の西京極ホームゲーム**

日付	対戦相手	開幕時間	会場
7.1 SAT	ザスパクサツ群馬	18:00 KICKOFF	第21節
7.22 SAT	名古屋グランパス	18:00 KICKOFF	第24節
アウェイゲーム			
7.9 SUN	FC岐阜	(18:00 KICKOFF)	長良川 (会場)
7.16 SUN	徳島ヴォルティス	(18:30 KICKOFF)	鳴門大塚 (会場)
7.29 SAT	FC町田ゼルビア	(19:00 KICKOFF)	町田 (会場)

Special Issue

# 世界での挫折を、力に変えて

## 岩崎悠人、FIFA U-20 ワールドカップへの挑戦

5月、岩崎悠人はU-20日本代表として世界大会に挑んだ。この年代の最高峰の舞台で、彼は何を感じたのだろうか。



日本にとって10年ぶりの出場となったFIFA U-20ワールドカップに主力選手として挑んだ岩崎悠人。日本は激戦区のグループリーグを1勝1分1敗で乗り切るも、決勝トーナメント1回戦で敗れて大会から姿を消した。後に大会準優勝を果たすべネズエラと延長戦までもつれる激闘を演じるなど、4試合を通じて日本代表の力を示すことができた大会だった。岩崎は全試合にスタメン出場。初戦の南アフリカ戦では反撃の狼煙となる同点弾をアシストするなど輝きを放った場面もあったが、本人は「立ち直れへんくらい悔しかった」と失意の中、帰国している。

悔しさは大きく分けてふたつある。ひとつはチームとしての結果だ。対戦したウルグアイ、イタリア、そしてベネズエラの3チームは大会ベスト4に名を連ねた強敵で、決して恥じるような結果ではないが、もっと

世界の舞台で戦いたかったという気持ちは強かった。ただ、それ以上に悔しかったのは、自身が思い描くようなプレーができなかったことだ。大会前には「得点に絡むプレーでチームに貢献したい」と語っていたが、アシストこそあれ得点は奪えず。「わかっていたけど、フィニッシュの精度や勝負強さなどを肌で感じました。僕たちにもチャンスはあったので、それを決めきるかどうか。それに尽きます」。大会前にはサンガでJリーグ初得点を決めており、いい流れで代表へ向かうことができたが、世界の壁は厚かった。

特に衝撃を受けたのは南米勢との試合だ。「プレッシャーの感度が全然違いました。守備が厳しく、逆に僕らがかけるプレッシャーに慌てない。むしろ待っている感じもしました。『来たら、かわすよ』みたいな」。国内やアジアでは経験したことのない問合い。さらに

アジア予選から2トップを組んでいた小川航基が第2戦で負傷離脱した影響で、相手ディフェンダーと競り合ってつぶれ役になるなど、より多くの負担を強いられるようになる。しかも対峙するディフェンダーは世界レベルだ。試合間隔が短い中、常に全力でプレーし続けるスタイルもあって次第に消耗ていき、数少ないゴール前の好機でシュートを枠に飛ばせない場面も見られた。「最後は自分らしくプレーしようとしたんだけど、そこでも結果が付いてこなくて…。タイミングを外してボールを受ける動きや、背後を狙う動きは少しは通用したけれど、点を決めてチームを勝たせる選手にならないといけない」と言葉に力を込めた。

6月2日からサンガの練習に復帰した岩崎は心身共に疲弊していたが「いろいろ感じてきたので、疲れはあるけれど今はプレーするだけ上手くなれると思うんです」と3日後にアウェイで行われたロアッソ熊本戦に帯同して後半途中から出場。翌節のFC町田ゼルビア戦にはフル出場して得点シーンに絡み、力強いドリブルから決定機を作り出すなど「久しぶりに楽しかった。サンガではチャンスマイクの仕事が多くなるけれど、ゴールは常に狙っています」と笑顔を見せている。

世界で挫折を味わった若き才能は、その事実から目をそらさずに己と向き合う覚悟を決めた。「もっと技術を上げて、高いレベルでもミスなくプレーしたい。そして最後の局面で仕事ができる選手になりたいです」。スピードとフィジカルを生かした推進力や攻守両面に絡み続ける豊富な運動量は、サンガでも欠かせない存在となっている。そこにゴールやアシストといった数字が付いてくれれば、さらなる高みへ到達することができるだろう。「ワールドカップで思うようなプレーができなかった悔しさは京都で晴らします」。それを証明する試合は、数多く残っている。ピッチ上で岩崎が見せる輝きの先にはチームのJ1昇格、そして3年後の東京オリンピックへと続く道があるはずだ。

text by 雨堤 俊祐



13 FW 岩崎 悠人 いわさき ゆうと

1998年6月11日生まれ。滋賀県出身。京都橘高校在籍時は1年生からレギュラーとして活躍し、第93回・第95回全国高等学校サッカー選手権大会で優秀選手に選ばれる。今シーズン、サンガに加入し、高卒ルーキーながら開幕戦で途中出場を果たし、アシストを記録した。アウェイの第10節・大分トリニータ戦ではアクロバチックなプロ初ゴールをマーク。フィジカルが非常に強く、心肺機能はチーム屈指。もともとはセンターフォワードの選手だが、サンガでは豊富な運動量を駆使してピッチを縦横無尽に駆けめぐり、チャンスマイクでチームに貢献する。



WBC世界ライトフライ級チャンピオン／城陽市出身

**拳四郎 選手(B.M.Bボクシングジム)**

プロデビュー以来負けなし。まさに「常勝」のまま勝ち進み、京都のジムから初のチャンピオンに輝いた拳四郎選手からサンガへの熱いメッセージが届きました！



**拳四郎(けんしろう)**  
1992年1月6日生まれ。京都府城陽市出身。父は元日本ミドル級王者で元OPBF東洋太平洋ライトヘビー級王者の寺地永。中学校3年生の時にボクシングを始め、奈良県立奈良朱雀高校、関西大学に進学。大学卒業後に父のB.M.Bジムからプロデビューを果たす。プロ転向後は無敗を記録し続け、今年の5月20日に行われたプロ10戦目でWBC世界ライトフライ級王者ガニガン・ロベス(メキシコ)に勝利し、京都のジムに所属する選手としては史上初の王座獲得となった。

プロ10戦目でタイトルを取ることができましたけど、実際にチャンピオンになっての心境は、意外と平常心のままで（6月6日取材）。ジムにお花が届いたり、会う方から「おめでとう」の言葉をいただいた時に実感することはあっても、生活の方は今までとまったく変わっていませんね。

初めてお会いした人からは間違いなく「ボクサーっぽくない」と言われるんですけど、ボクシングを始めたのは中学3年生の時。それまではテニスや柔道など、いろんなスポーツをやっていました。実は小学校時代は地元・城陽の少年団でサッカーをやっていたんですよ。だから昔はサンガタウンにも行ったことがあります。ボクシングを始めた当初は、殴られたら痛いし、本当にイヤイヤしていました。でも、勝った時の気持ちよさは何

物にも代えがたく、それが今までボクシングを続けてきた原動力になっていると思います。

実は僕、人から情報をもらうことはあっても、自分からは対戦相手の映像をほとんど見ないんですよ。周りの人が逆に心配するほどです（笑）。それよりも自分がずっと大切にしてきたのは「自分のスタイルを崩さない」ということ。サッカーもボクシングと同じ勝負の世界なので、もしかすると共通点があるかもしれません

ね。それと勝敗は運が作用する部分も大きいです。自分はマッチメイクの時期や、試合中のほん



のわずかなタイミングに運の強さを感じることがあります。しかし、運や流れを自分の方にたぐり寄せるのも強さ。相手を圧倒する気迫であったり、常に先手を打つ強気の姿勢が勝利につながるんだと、僕は信じています。また、自分のことを応援してくれている人の応援も、すごく力になっているのを感じます。同じ京都に拠点を持つプロスポーツ選手として、サンガの皆さんにも自分たちのスタイルを信じて強気の姿勢で戦い、運と勝利をガッチャリつかんでください。僕もまだ成長できると思っています。これからも勝ち続けますので、サンガの皆さんも勝利を重ねて、絶対にJ1に昇格してください！西京極にも応援に行きますから、その時は素晴らしい試合をみてくださいね。

**大学生PR大使 サンガキャンパス隊の  
We are SANGA FAMILY**  
サンガファミリー



今日はご両親と妹のあいりちゃんとで西京極にサンガの応援に来てくれたみずほくんをご紹介します。みずほくんが生まれた頃からサンガの応援を始めたというご両親の影響で、自然とみずほくんもサッカー好きに。年長さん時代からスクールに通い、今ではサンガのホームゲームの3時間前に西京極に来た時は、いつもサッカー検定に挑戦しているとか。サンガで好きなのは大黒選手。背番号31のラバーバンドを手首に巻いて、オグリゴールへの期待に胸を膨らませていました☆

## 2017 OFFICIAL GOODS

本格的な夏の到来を彩る、新作Tシャツとガチャ!!

**Tシャツ (ロゴ)**  
サイズ:XS/S/M/L/LL  
一般価格:¥2,808(税込)  
会員価格:¥2,528(税込)

シャープなシルエットとデザインがgood!

**フットボールTシャツ**  
サイズ:130/150/S/M/L/LL  
一般価格:¥4,860(税込)  
会員価格:¥4,380(税込)

詳細はオフィシャルサイトで!! [京都サンガ グッズ](#)

ナイトゲームで目立つこと間違いなし!!

新作ガチャ  
**LEDシリコンブレス ¥300**

お求めはスタジアム場外「サンガフレンズスクエア」グッズ売場前  
もしくはサンガタウン城陽内「オフィシャルグッズショップ」まで!!

音に合わせて光る♪

—がんばれ、サンガサポーター—  
**応援で熱く、ガスで涼しく。**



**99大阪ガス**

今、ガス冷暖房が  
きてます!

[ガス冷暖房](#) [検索](#)

おひとりさま参加可能！

# 「サンガ個サル」 大好評開催中!!

「個サル」とは「個人参加型フットサル」の略称で、その日に集まったメンバーでフットサルを楽しめます。サンガフットサルパークでは目的やスキルに応じたクラスがありますので、あなたにピッタリのスタイルがきっとみつかるはず!!

**初心者・女性集まれー！  
初心者クラス**

開催日時／毎週水曜日 19時30分～21時  
料金／男性¥1000、女性¥800

**経験者・上級者限定！  
エキスパートクラス**

開催日時／毎週火曜日 21時～23時  
料金／男性¥1000、女性¥800

**みんなでゆる～くゲームをエンジョイ！  
エンジョイクラス**

開催日時／毎週金曜日 20時～22時  
毎週土曜日 18時～20時  
料金／男性¥1000、女性¥800

**フットサルで家族の絆もっと深まる！  
親子サル**

開催日／7月23日(日)  
以降、土曜日・日曜日不定期開催

開催時間／14時～15時30分  
料金／¥1500(大人1名、子ども1名)  
※子ども1名追加+¥500(1名まで追加可)

詳しく述べはサンガフットサルパークホームページまで!!

## SANGA FUTSAL PARK

サンガ フットサル パーク

平日 10:00～24:00  
土日祝 8:00～24:00  
月曜休  
★駐車場完備

〒610-0121 京都府城陽市寺田大谷141-1  
ご予約・お問い合わせ : 0774-58-0069

<http://www.sangafutsalpark.jp>

天皇杯あるある...番狂わせおこりがち。サンガはJ3のアスルクラロ沼津に0-1で負けてしまつたけどそれは天皇杯あるある。だから悲しむことはありません。

今回の天皇杯はJ1のヴァンフォーレ甲府だってJ3ヴァンラーレ八戸に0-1で敗れています。J2がJ3に敗れるよりJ1がJ3に敗れる方がダメージでかい。さらにはヴァンフォーレとヴァンラーレ、似たチーム名に敗れたからさらにダメージでかい。サガン鳥栖が京都サンガに敗れるとたぶんダメージでかい。カマタマーレ讃岐がカーター富山に負けるのもダメージでかい。

**天皇杯あるある → 似たような名前のチームの対戦ありがち。**

ちなみにヴァンラーレ八戸の監督は何とあのJリーグ初期のヴェルディの闘将・柱谷哲二さん! 柱谷監督は第82回天皇杯(優勝は我らがサンガ!)で国士館大学の監督時代に国見高校に敗れるという番狂わせも経験している。そして沼津には現役復帰したゴン中山選手がいる。

**天皇杯あるある → 思わぬところでレジェンドを見れがち。**

最も悔しい思いをしたのはベガルタ仙台。筑波大に敗れ、天皇杯二年連続番狂わせ。監督が謝罪動画をアップする異例の事態に..。しかし逆を言えばJ1の強いチームに勝つこともあるということ。2003年の第83回天皇杯では市立船橋高校が横浜F・マリノスに延長PK戦に持ち込む健闘を見せた。この時の市立船橋の選手、Jリーガーになっても「あの時の市立船橋の選手ですか!」って言われがち。

**天皇杯あるある → 天皇杯は記憶に残りがち。**

**レイザーラモンは7/16(日)12:30/15:30よしもと祇園花月本公演に出演!**

7/15(土)~8/30(水)までの期間、「よしもと祇園花月6周年おかげサマー!6大キャンペーン」を実施します。お子様の割引やグッズ付きチケットの販売など! 詳しくはよしもと祇園花月HPで!

<http://www.yoshimoto.co.jp/gion/> よしもと祇園花月

京都の観光情報なら  
京都いいとこウェブ

京都いいとこウェブ

<http://kyoto.graphic.co.jp/>

京都の魅力的な観光情報を発信！  
7・8月号で紹介する「京のこたび特集」は、  
「京の夏を感じる 六波羅・五条坂周辺」。  
夏の伝統行事や周辺のお食事処などを  
ご紹介しています。

六波羅  
五条坂周辺

京のこたび

QRコード

京都の地域情報なら  
Kyoto eBooks

京都ebooks

<http://www.kyoto-ebooks.jp/>

京都府の各地域の広報紙やフリーペー  
パーが、電子書籍で読めるポータルサイト  
です。SANGA TIMESも掲載中！  
いつでもスマホでご覧いただけます！

SANGA  
TIMES

バックナンバーも  
読みます。

QRコード

# スクール通信

今回は… ベルファ宇治

サンガサッカースクールの各会場に通うスクール生から寄せられた声をご紹介します!!

Q: サンガでサッカーを始めたきっかけは?  
A: 試合によく行っていて、サンガでサッカーをしたいと思ったから!



●担当コーチ  
正岡 望世

ベルファ宇治会場の子どもたちからは、仲間意識の高さをとても感じます。全員がとても仲良しだですが、勝負の時は全員必死な顔つきで頑張っています。毎回、僕も驚くプレーが見れて楽しいです!ぜひ一度、ベルファ宇治会場へ体験に来てください。  
(もうぜコーチより)

ベルファ宇治フットサルコート  
宇治市横島町清水48 BELLFA宇治 3F/駐車無料

無料体験  
実施中!!

今年度から「お友だち紹介キャンペーン」がスタート!  
お友だちを誘って、ポイントを貯めてサンガグッズと交換しよう!  
スクール生の紹介で入会したお友だちもポイントが付くよ♪

サッカースクールに関するお問い合わせは 京都サンガF.C. サッカースクール事務局

TEL.0774-55-7621

京都サンガ 体験スクール

検索



サンガつながり隊  
福中善久コーチの

# I ポオ / ミカナ

第5回 サッカーが子どもを伸ばす理由

サッカーの特徴は「自由」「失敗」「コミュニケーション」

私たちは子どもたちにサッカーを指導するにあたって、技術の向上だけでなく、人間的な成長も促すよう心がけています。保護者の皆さんもそういった教育的要素に期待しておられる方が多いと思います。そこで今回は、なぜサッカーが子どもの成長に良いのかをご説明します。

サッカーの特徴として「自由度が大きい」、「たくさんの失敗があつて当たり前」、「コミュニケーションのスポーツ」の3つがあります。サッカーはいつも攻撃や守備をやってもよく、ピッチ内を縦横無尽に動くことができます。状況の変化が早いので、指示がなくても自分で判断し、行動しなければなりません。それだけに創造性を働かせることができ、「ああしてみよう」、「こう動いてみよう」といろんな発想をしながら行動しやすいですよね。子どもにとっての「楽しい」は、自分の意思で動くことから始まります。また、サッカーはシートやトラップなどにおいて、実にたくさんのミスが起こりやすいスポーツです。バレーボールや野球なら落球がそのまま失点につながりますが、サッカーはたくさん小さなミスを受け入れながらゲームが進行するという特徴があります。次にコミュニケーション。サッカーは目まぐるしく変化する状況の中、仲間と協力しながらゴールを目指さなければなりません。そのためには長所を活かしたり、短所をカバーしたりと、「チャレンジ＆カバー」が大切となってきます。

今の子どもたちは、大人が用意したことこなすことが精一杯で、なかなか自分の意思で自由に行動できません。それが、誰かの指示がないと何もできない「指示待ち症候群」につながっているのではないかでしょうか? また、「できないからムリ」、「失敗したらイヤ」という理由で、何事にもチャレンジしない子どもが最近本当に多いです。でも、「ちょっとぐらい失敗してもなんとかなる」、「今回は失敗したから次はこうしてみよう」という気持ちで小さな失敗と成功を繰り返すことによって、チャレンジ精神はどんどん育まれていきます。そして便利な世の中になり、いろんなことをひとりでできる時代になりましたが、「人と向き合い、その人について考えること」も大切にしたいものです。サッカーでは「どんなパスを渡せば、相手は次のプレーをしやすいのか?」を考えることがとても大切ですが、それは普段自分がこんな行動をすれば、相手がどう感じるか?と考えることにも通じますよね。「自由」、「失敗」、「コミュニケーション」は、サッカーの大きな特徴であり、その特徴を踏まえてゴールを目指すためのものが「技術」。サッカーを学ぶ人も、指導する人も、そこに注目してほしいと願っています。



## 京都サンガF.C.サッカースクールpresents 夏期特別スクール実施!



### ●Aコース

8月1日(火)、2日(水)、3日(木)

### ●Bコース

8月11日(金・祝)、12日(土)、13日(日)

【時間】年中・年長／9:00～10:00

小学1～6年生／9:00～10:10

【参加費】年中・年長／2,000円(税込)

小学1～6年生／4,000円(税込)

【会場】サンガタウン城陽人工芝グラウンド

【申込締切】

Aコース／7月24日(月)

Bコース／8月4日(金)

両コースの参加もOK!

詳しくはこちら!!▶



この夏、サッカーが  
もっと好きになる!!

参加者特典!!

選手のサイン入りスピアイクなどが当たる!

①お楽しみガラガラ抽選

サンガのホームゲームを観戦できる

②無料招待券・割引優待券

★スクール生ならさらにポイント&抽選のチャンス!!



「元気」「笑顔」「心」をみんなに届けるチアリーダーになろう!!  
サンガキッズアススクールもメンバー募集中☆



■募集対象クラス

リトルクラス: 年中・年長 キッズクラス: 小学校1～3年生

■レッスン 週1回 (60分) ■入会金 10,000円

■会場 西京極、太陽が丘 ■月謝 7,000円

お問い合わせはスクール事務局まで!! TEL.0774-55-7621



福中 善久 (ふくなか よしひさ)

1981年5月14日生まれ。奈良県出身。大阪YMCAで幼児から小学生を中心にサッカーをはじめ、さまざまなスポーツやキャンプの指導にあたった。2013年からサンガ普及部コーチに就任。2014年から「サンガつながり隊」コーチとして活動し、京都府内の小学校を巡回して子どもたちに自分で考えて行動できるメニューを実践。「よっしーコーチ」のニックネームで親しまれ、身体を動かすことの楽しさや、仲間を思いやり協力し合うことの大切さを伝えている。

THE NEW VALUE FRONTIER

**KYOCERA**

# 最強、躍動。

※2  
耐海水  
SEAWATER PROOF

耐衝撃  
SHOCK PROOF

耐水結  
FREEZE PROOF



au

高耐久性スマートフォン  
**TORQUE G03**

※1:米国国防総省の調達基準(MIL-STD-810G)19項目に準拠及び京セラ独自の耐久試験2項目に加え高さ1.8mからの落下試験をクリア(詳細はauホームページ参照)したau初のスマートフォン(2017年5月10日現在、京セラ調べ)。※2:日本沿岸部を想定した海水で京セラ独自の耐久試験を実施。水深1.5mに約30分沈めても本製品内部に浸水せず、電話機の性能を保つこと。全ての海水耐久に対して保証するものではありません。無故障を保証するものではありません。

# ホームタウンで ヤッテQ!

2017シーズンは、選手がホームタウンの伝統産業などを自ら体験します。

## 第4回 長岡京市

### おとくに竹遊びの会・竹遊会 29 GK 竹工作 × 永井建成

長岡京市のいたるところに生育する孟宗竹は、昔からさまざまな分野で人々の生活を支え続けています。そんな竹の魅力を広く伝えるために尽力している方々と地元・長岡京市出身の永井建成選手が交流を深めました。

永井建成選手は京都サンガF.C.のホームタウンである長岡京市出身。子どもの頃は友だちと西山の竹やぶによく遊びに行ったそうです。プロサッカー選手になった現在、同市にある実家で生活していますが、長岡京市の至るところにある竹やぶの景色はあの頃と同じ。さわさわと風にそよぐ竹の葉音に誘われるように、永井選手は慣れた足取りで歩を進めています。今回訪れたのは、長岡京市粟生の「から子ヶ岳」。ここでは年間を通じて竹の面白さを楽しみたいメンバーが2006年に結成したボランティア団体「おとくに竹あそびの会・竹遊会」が活動しています。主な活動内容は竹林の整備やタケノコの「掘り取り」、間伐竹材を用いた竹製品の製作、子どもからお年寄りまでの幅広い人たちを対象として竹工作の指導、竹林整備・タケノコ掘り体験の支援など、実に多彩です。竹遊会でつくった竹製の靴べらや遊具、健康補助具は、高齢者施設や福祉施設にも寄付されています。ま



た、祇園祭が近くになると、清涼感を演出する器として使うため、飲食店から長岡京の竹林で育った孟竹林を求められるそうです。



竹遊会の活動拠点に到着すると、代表の佐古節夫さんをはじめ、竹遊会の皆さんのが揃えられた竹遊具や竹製品の数々を目にするや否や、永井選手は竹けん玉、ガリガリトンボなどの遊具を次々と手に取り、子どもの頃を懐かしむように遊び始めました。

永井選手が体験するのは「青竹踏み」で知られる「足踏み竹」。竹遊会では高さが浅めの足踏み竹を製作しており、土踏まずへの優しい刺激が好評なのだと。一見、竹を割っただけのように見える足踏み竹ですが、作業は竹の伐採からスタートしました。躊躇することなくノコギリを手に取って竹を切り始める永井選手を見て、「ノコの使い方がなかなか上手」との声をみなさんからいただきました。続く竹割りや焼き入れ、研磨などの作業も佐古さんの指導を受けながら難なくこなしていく永井選手。聞くところによると、子どもの頃は親と一緒に日曜大工を楽しんでいたのだとか。また、小学校時代には、授業の一環として竹とんぼをつくったこともあります。さすが竹の名所の長岡京っ子といったところです。

みるとみるうちに足踏み竹が出来上がっていました。

完成後は、竹遊会の皆さんに青竹筒で炊いて頂いたタケノコご飯とタケノコ豚汁を囲んでの談笑。もちろん、お椀やお箸も竹でつくったものです。タケノコごはんは、タケノコの風味に加えて、青竹の清涼感ある香りが漂う絶品です。お箸が止まらない永井選手は「豚汁、おかわりいいですか?」と食欲を爆発させていました。また、竹遊会の皆さんと共に通の知人の話題で盛り上がるなど、地元出身選手ならではの交流が実現しました。佐古さんも過去に何年も西京極でサンガの応援をしたことがあり、平井直人選手(現:レノファ山口GKコーチ)や原川力選手(現:サガン鳥栖)がお気に入りの選手だったそうです。食事をしながら談笑した後、竹遊会の皆さんからサインや記念撮影のリクエストに応じる永井選手。「サインをもらうために生まれて初めてサッカーボールを買った」との女性会員の細野さんをはじめとする竹遊会の皆さんの、地元・長岡京市出身の永井選手に対する大きな期待を感じられる、貴重なひとときとなりました。

(6月15日取材)



実際にやってみると昔の楽しかった思い出がよみがえってきた!

#### ①竹割り



適度な長さに切り出した竹を、「竹割り」と呼ばれる専用の刃物で割る作業。木づちを使ってある程度刃物を食い込ませた後、両手で地面に叩きつけると、竹は見事に均等な幅で一気に割ることができます。

#### ②焼きを入れる



カビや虫がつくのを防ぐため、青竹は煮るか焼くかの作業が必要。今回は焦がして柄を出すことになりました。トーチであぶると、竹から油分が浮き出し、それがワッカスのような役割も果たします。

#### ③研磨～仕上げ!!



ナタやグラインダーなどの工具を使いながら角を丸めて仕上げていきます。慣れた手つきで着々と作業を進める永井選手。最後はドリルで穴を開けたところにハトメと紐を取り付ければ、足踏み竹が完成!!

子どもの頃、親と一緒に工作したことや、学校で竹とんぼをつくったことを思い出し、とても懐かしかったですし、楽しかったです!



今回、取材にご協力いただいた「おとくに竹あそびの会・竹遊会」の情報は[こちら!!](https://otokunichikuyukai.jimdo.com)



「オレさま」やで、アッ(笑)

コ:バーサくん、最近、ウチの人気を横取りしようとしてるやろ? そんなんしたら「横取りドリ」って呼んで!  
バ:えっ! そんなことしてないよ!(そもそも人気あったっけ?)  
コ:ウチがサンガのオフィシャルサイトでオフィシャルサイトで「にっく」始めたたら、それに便乗してきたくせに! それに何なん? 「オレさま」って。バーサくん、はヘナチョコなんやし、「オレさま」ってキャラとちゃうやん!

バ:いやいや、ちょっとヤンチャで破天荒ってキャラ設定になっているから「オレさま」でいいねん。公式プロフィールにも「身体の赤い色は、情熱と行動力が燃え上がり、アグレッシブな様を表している」となってるねんで、実は。  
コ:のうち、その「行動力」とやらでコトノのマネしてTwitterも始めるつもりなんやろ? ゼッタイ炎上するわ。公式プロフィールを「身体の赤い色は、ついとい

調子に乗り炎上している様を表している」に変更してもらったら?  
バ:ボ…ボク、炎上なんかしないって…。  
コ:ほら、やっぱり「オレさま」キャラちやうやん!  
「バーサ・コトノのつき。」はサンガ公式サイトで配信中★  
コトノちゃんの日々のつぶやきは公式Twitterでチェック!!  
アカウント名:kotonochan12  
<http://twitter.com/kotonochan12>

次号

SANGA  
TIMES  
2017年8月発行予定